

# 青木のりおの

# 青のりレポート!

AONORI REPORT

<http://aokinorio.com>



朝ごはんでもおなじみー

## 中国・姉妹都市とのマスク等支援助物資の提供と今後の経済連携について

市は中国でコロナが流行した折1月31日に中国の姉妹都市である瀋陽市にマスクを送り、その後、「恩返し」として同市より3月11日に防護服が送られました。この事について市長の考えを質問したところ、「海外諸都市との交流においては、各都市が持つ特性やポテンシャルを活用し、本市が有する強みや魅力を生かしながら、双方にメリットのある交流を行っていききたい」との回答がありました。

コロナ禍で急速にデジタル化が必要とされる中、本市においても「できることから」一歩ずつではなく「必要なことはすべてデジタルで」と考え方が変わっています。中国は世界第二位の経済大国であり、第4次産業革命といわれるデジタル化が圧倒的に進んでいます。今回の中国とのつながりを、先進的なデジタル化、新しい生活様式の研究に生かし、併せて経済的な結びつきについてもより良い関係を築いていくことを提言しました。



**青木のりお** 昭和52年8月26日生まれ

- 4期連続トップ当選(29才初当選)
- 議会運営委員会委員長
- 健康福祉委員長、まちづくり委員長歴任
- 川崎市幼稚園父母の会、連合会前会長、高津消防団員、保護司、川崎高津ロータリークラブ
- 英国ボーンマス大学院国際経営学Dip取得、産業能率大学、サレジオ学院中高、洗足学園小、川崎めぐみ幼
- 両親、妻、息子3人の7人家族
- フットボール日本選手権3連覇
- W杯日本代表、キリマンジャロ登頂成功(5,895m)

**青のりカフェ**  
(地域座談会)  
**各地で開催中!!**

どなたでも 何人でも **申し込み受付中!**

川崎市議会議員  
**青木のりお事務所**

〒213-0029 神奈川県川崎市高津区東野川2-29-11

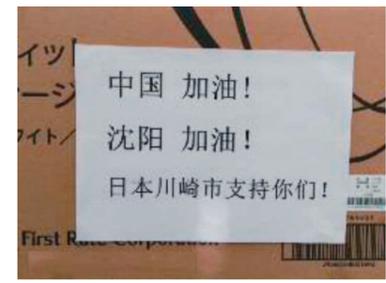
TEL **044-788-8899**  
FAX **044-788-6440**  
E-mail **info@aokinorio.com**  
HP **http://aokinorio.com**

川崎市 KAWASAKI CITY

**LINE 公式アカウント**

市政情報はイベント情報、生活に役立つ情報をお届けします

※月に1、2回、市民の関心が高い情報、周知したい情報を発信します



川崎市からのマスク提供(1月31日)



瀋陽市からの防護服受領(3月11日)

昨年10月に甚大な被害を及ぼした令和元年東日本台風から約10か月が経ちました。市内における罹災証明の申請件数は3399件に上りました。その中で、本市独自の支援制度を利用できていないという声が届いたため、執行状況について質問しました。2020年6月時点の状況を確認したところ、独自支援制度対象と想定される件数は2105件あり、すでに1901件の申請が完了しております。しかし約200件に関しては未申請となっております。

また、神奈川県・日本赤十字社などが募集した義援金についても対象世帯に分配する予定ですが、6月時点では2108件の対象世帯のうち292件が未申請となっております。

対象世帯の約9割が支援や義援金の申請を完了し、順次振り込みも進んでおりますが、未申請となっている世帯は自らの意思で未申請なのでしょうか。そうではなく申請書が届かない、制度を知らないという事であれば、もう一度行政から被災者へのフォローが必要ではないかと考え質問いたしました。

市長より「支援を確実にお届けすることが重要であり、申請勧奨や制度周知を丁寧に行う」との回答がありました。被災した方にしっかりと支援の手が届くよう引き続き注視してまいります。

## 令和元年東日本台風支援制度 執行状況について

## 市議会報告

令和2年度第4回定例会が閉会しました。本年度は議会運営委員長並びに大都市財政制度調査特別委員会の委員長を拝命しています。常任委員会はまだづくり委員会に所属し、都市計画・道路・河川・住宅・公園について審査してまいります。コロナウイルス拡大の影響で例年と異なる対応が増えますが、冷静にスピード感を大切にして活動してまいります。

## 台風第19号 被災者向けの支援策 (市HPより)

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊 (準半壊)	一部損壊 (10%未満)
被災者生活再建支援制度 ・50~300万円 ※半壊の判定のうち、住宅が半壊し、住宅を止むを得ず解体した世帯(半壊解体)を含む。		本市独自支援策 30万円 ※床上・床下浸水被害		
災害救助法による住宅の応急修理制度 ※現物支給、日常生活に不可欠な部分の応急的な修理				(対象外)
・59万5千円			・30万円	

## 音楽のまちについて

本市は「音楽のまち かわさき」としてイメージアップを図ってきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、イベントの中止・延期が相次ぎました。音楽のまちを標榜する本市として、新しい生活スタイルにおける音楽のまちの推進について市長に質問しました。市長より「感染拡大が最重要課題とされる現状においても、音楽を通じて出会いや交流、感動を提供できるよう取組を推進していく必要がある」との回答がありました。

音楽の街ウイーンでは、6月5日にクラシックコンサートが始まったようです。再開の楽曲はベートーヴェンの「運命」でした。コロナの不安を力強く吹き飛ばすイメージで選ばれたとの事ですが、多くの観客が涙を流し、「生音には生命の規律がある」とコメントしていました。そこで、ミューザ川崎シンフォニーホールにおけるイベント再開についても質問したところ「国、関係機関が定めるガイドラインを踏まえた上で、感染防止に対応した定員の設定や客性に配慮などの取組を行い、7月から再開したい」との回答がありました。

引き続き音楽のまちを応援していただくよう提言しました。



ミューザ川崎シンフォニーホール(東京交響楽団HPより)



6月25日 一般質問にて発言しました



令和2年予算審査特別委員会にて